

天遊 Ten You

大阪教育大学広報誌

OSAKA KYOIKU UNIVERSITY
PUBLIC INFORMATION MAGAZINE

Winter 2017 Vol.40



ラボ訪問

STUDENTS NOW!

～社会人学生～

STUDENTS NOW!

～内定者インタビュー～

夢を叶える就職サポート

男女共同参画推進コラム
手をつないで Vol.15

BAGの中身

附属学校園ウォッチ

ゼミ室こぼれ話

TOPICS

特集

天王寺キャンパスの魅力

大教大
NAVI



アプリを利用すれば、今号の「天遊」に関連した動画が視聴できます。

「大教大NAVI」アプリをダウンロードして、左記のアイコンと同じボタンをアプリ内でタップするとカメラ画面に切り替わります。次に左記のアイコンをカメラに読み込ませると、動画が視聴できます。

詳しいアプリの使い方はホームページをご参照ください。



国立大学法人
大阪教育大学

大阪教育大学

CLOSE UP!

天王寺

キャンパスの魅力

大阪教育大学 天王寺キャンパス

教育学部 幼稚園・小学校のオールラウンドプレーヤーをめざす

初等教育教員養成課程
(2017年4月開設)

- 幼児教育専攻*
- 小学校教育専攻【昼間コース】*
- 小学校教育専攻【夜間5年コース】

*1～2年次を柏原キャンパスで履修予定です。

大学院 夜間開講の大学院

教育学研究科(修士課程)

- 実践学校教育専攻 ● 健康科学専攻

関西大学・近畿大学との連合教職大学院
大学院連合教職実践研究科
● 学校マネジメント ● 教育実践コーディネート
● 教育実践力開発

附属学校 附属天王寺小学校／附属天王寺中学校／附属高等学校天王寺校舎

アクセス抜群！都市型キャンパス

日本一の高層ビル「あべのハルカス」をはじめ、観光やショッピングスポットとして注目を集める大阪市の阿倍野・天王寺エリア。

このエリアに、1901年以来の歴史をはぐくむ「天王寺キャンパス」は、

今も昔も大阪の教育を支えています。

JR寺田町から徒歩5分、JR天王寺駅から徒歩10分という抜群の交通アクセスに加えて、

これまでの夜間(5年制)に加えて、2017年4月には、昼間(4年制)コースを新設するなど

新たな魅力が追加。附属学校が隣接する環境で教育実践力の高い人材を育てています。

大阪府初設置となる関西大学・近畿大学との連合による、現職教員やストレートマスターを対象とした

「連合教職実践研究科(連合教職大学院)」を2015年4月に開設。

現場の実態に基づく「理論」と「実践」を往還する学びを展開するとともに、

現職教員等を対象とした「教員免許更新講習」を開講するなど、

教育実践力向上の拠点的功能を有したキャンパスです。

天王寺キャンパスの魅力を語る

天王寺キャンパスにある第二部の責任者である夜間学部主事 大木愛一教授と、連合教職大学院の責任者である大学院連合教職実践研究科主任 森田英嗣教授に天王寺キャンパスの魅力を語っていただきました。



夜間学部主事
大木 愛一

Q2. キャンパスの雰囲気は？どのような学生が学んでいますか？

A2. 夜間ですが、学生たちが非常に明るく前向きで、その気になれば全員ニックネームで呼びあえるコミュニティーです。夜間大学院に学ぶ院生は、現職教員も多く在籍し、課題意識が明確で真摯に教育実践に取り組んでいます。こちらが教えられることもしばしばです。

Q1. 天王寺キャンパスで学ぶことの魅力について

A1. 交通至便な立地なので、働きながら学ぶことができます。学校現場などで特別支援教育サポーターや放課後子ども指導員として働く学生も多く、実践を学びにつなげることもできます。昔からの街道筋、商店街、住宅地と、年々変化する天王寺のターミナル周辺という、古いものと新しいものが同居する地ですから、過去や現在を学ぶ姿勢や、その先の未来を見る力も自ずと養われるのではないのでしょうか。

Q3. 2017年4月、昼間開講の初等教育教員養成課程が設置されます。どのような学びが展開されるのでしょうか？

A3. 初等教育教員養成課程は、幼児教育の現場と関わり、創造的・体験的な側面を重視する「幼児教育専攻」と、幼児教育からの接続を理解した実践力の高い「小学校教育専攻」で構成されます。幼児教育と小学校の接続を意識した、幼稚園・小学校教育のオールラウンドプレーヤーを育成します。残念ながら中学校の教員免許は出せないのですが、中学校各教科へ内容が発展してゆく視点はおろそかにはしません。

Q4. 夜間に開講している国立大学唯一の小学校教員養成課程ですが、その存在意義は？

A4. 北海道から沖縄まで、毎年全国から学生が入学します。3年次編入の制度も時代に応じて役割を変えながら維持してきました。学費は昼間部の半額で、自活が必要な状況にあっても、目標を見失わずに学ぶことができる環境を提供することが使命です。4月からは初等教育教員養成課程小学校教育専攻の夜間コースになりますが、引き続き、全国から教員をめざす勤労学生が集い学ぶ場を提供します。

Q5. 受験生へメッセージを。

A5. 天王寺キャンパスは、教員をめざす強い意志を持った熱意ある学生が集まり、互いに刺激し合い、成長しあえる環境です。夢を叶えるためのベストを探して下さい。お待ちしております。



大学院連合教職実践研究科主任
森田 英嗣

Q1. 本学連合教職大学院の他にはない魅力とは？

A1. 関西屈指の大手私立大である関西大学、近畿大学との連合大学院です。夜間はキャンパスで、昼間は学校現場で学びます。研究者と実務家によるチームティーチングと、アクティブラーニングを多く取り入れた授業で、理論と実践を往還し、現場の実態に即した学びを提供します。

Q2. どのような授業・実践が行われていますか？

A2. 教職経験に応じて、学校マネジメント、教育実践コーディネート、教育実践力開発の3つのコースを設け、実践的指導力を高めるカリキュラムを用意しています。大阪の教育現場が直面する問題を教材として、実践を重視した主体的な学びを促しています。通常の学校はもちろん、児童自立支援施設や院内学級、夜間学級、オルタナティブ・スクールなど様々な機関での実習機会を設け、教育現場を多様な視点で捉え直します。

Q3. どのような学生が学んでいますか？

A3. 実践から学び実践に生かす姿勢を身に付けたうえで教員になりたいという学部卒の院生、学校現場や教育行政において教育的・組織的リーダーをめざす現職教員の院生が在籍し、現在の学校や教育委員会が抱える課題の解決に向けて学んでいます。

Q4. 3月に1期生が修了します。どのような教員になってほしいですか？

A4. 学部卒院生には、まずは優れた実践家になってもらいたい。同世代とは2年間の差がありますが、それを乗り越える知識と実践力を得ることができているはずです。現職教員は、学校や教育行政のリーダーとなり、地域の教育改革を担う人材として活躍してほしいと思います。

Q5. 教職大学院をめざす学生、現職教員へメッセージを。

A5. 一学部から進学をめざす方へ
学部でしっかりと力をつけた人がさらなる専門性を獲得するための大学院です。学部教育が実践力ある教員になるための学びの場だとすると、教職大学院は学び続ける教員、自ら実践力を向上し続ける教員になるための学びの場です。授業はいつでも公開可能ですので、天王寺キャンパスへお申し込みください。
一現職教員の方へ
これまでの教職経験を基盤にして、自らの実践力を向上させるとともに、学校や教育委員会等でリーダーとしての役割を担える資質・能力を身につけてほしいと考えています。



▶すべては“カッコいい”のために

スポーツ万能、勉強は大嫌いな子どもだった穴戸隆之准教授は、中学で始めたバレーボールを続けようとして進学した福島大学教育学部で、勉強の面白さを知ります。「体育コースがあって、授業で学んだことを、バレーボールにそのまま生かすことができました。強くなるための理論がわかってくると、『あっ面白い』って」。だから自身も面白くない授業はやりたくないと言います。「今は、インターネットで検索すると、情報がすぐに出てくる。だから、ネットであまり検索しないこと、検索しようとして発想できないことを狙って講義をする。『そんなの知ってる』と思ったら、聞いてもらえませんか」

実は、教員が一番なりたくない職業でした。

実践学校教育講座

穴戸 隆之 准教授

SHISHIDO TAKAYUKI



「どんなに素晴らしい先生でも、どんなに頑張っている、粗探しをされて悪く言われる。教職にはそういうイメージがありました」。気持ちが変わったのは、福島県の高校での教育実習がきっかけでした。「最後のハンドボールの授業が終わった時に、『先生ありがとう』って生徒が胴上げをしてくれた。驚きました。宙に舞いながら、心も舞い上がり、先生ってもしかして気持ちのいい仕事なのかとも思い直しました。同大大学院教育学研究科を修了し、高校教員になります。

宮城県にある高等専門学校に移った後、教員をしながら東北大学大学院医学系研究科博士課程に進学。昼は授業、放課後にクラブ指導をしてから大学へ行き、夜中まで研究しました。「どち

らかを辞めたいとは思いませんでした。研究は面白いし、仕事とは違う頭を使うので、むしろ息抜きになりました」。博士号を取得後、アメリカ・イリノイ大学で在外研究員として1年滞在します。

博士課程時代から現在まで一貫して取り組んでいる研究テーマは「子どもたちの身体活動と学業成績との関連」です。運動すると脳に刺激が与えられるため、運動後に勉強すると、脳が活性化した状態で学習でき、効率良く学力を伸ばすことができると考えています。「子どもたちに運動させたいけれど、体力がつかうとか健康になるからとか言っても誰もやらない。だから運動すると頭が良くなるよと言ったら、みんなやる気が起きるんじゃないか」。現場の先生たちが感覚でわかっていることを正確なデータで示し、論文にしたいと意気込みます。

授業や研究の傍ら、女子バレーボール部のコーチをしています。「試合で勝ちたい、ならばどうという練習が必要か、どういう指導をしたら上達するのか。きちんと話し、指導できる。教育現場で、大教の女子バレーボール部の人ってこんな風にできるんだって思われたい」。勝つことよりも、将来教育現場で指導者として活躍できる選手を育成することに主眼を置いています。

学生には、どんなことでもいいから本気になるって欲しいと望みます。「本気になるということがどういうことなのかを体験してくれたら、もっといい先生になる人が増えると思います。授業、クラブ、バイト、いろんなことを中途半端にせず、一つのことにもっと時間を傾けて欲しい。何事も本気でやれば目標は達成できる」と強調します。

バレーボール、勉強、教職、博士課程、アメリカ留学と次々に挑戦していく行動力の源は「やっぱり『カッコいい』のため。『バレーボールが上手だったら、名刺に医学博士って書いてあったら、体育の先生が英語話したら、どれもカッコいいでしょ。すべてはカッコ良さです」

その人柄は、軽妙洒脱。努力や苦労を見せない、ユーモラスな語り口と笑顔が魅力です。

Students Now!



知識と経験を融合し、学校現場へ

大学院連合教職実践研究科 2 年生 戸出 克彦さん

大学院連合教職実践研究科に在籍する戸出克彦さんは、仕事をしながら大学院に通う社会人学生です。

まさか大学院生になるとは思いもよらなかった。大阪府教育センターで指導主事をしてた時、「春から教職大学院に行かないか」と上司に声をかけられました。予期せぬ言葉に驚きながらも、「選択肢は『YES』か『はい』しかないと思った」と笑います。当初は学生生活が全く想像できず戸惑いましたが、「誰もが経験できることではない。ラッキーだ」とすぐ前向きに捉えなおします。

そもそも教員をめざしたのは、海外で生活してみたいという子どもの頃からの夢がきっかけでした。「外国で活躍できる職業として最初に浮かんだのが、日本語教師でした。でも、小学校の先生をめざせば、国語はもちろん、いろんな教科を教えることができるなと思い直して、大学で小学校教員養成課程に進学しました。学校では生徒会役員や部活の部長を務めるなど、人のために何かをすることが好きな性格も後押しになりました。

教員になって8年目、海外で生活するという当初の目的を叶えます。マレーシアにある日本人学

校に派遣されたのです。「民族・宗教的なバックボーンが異なりつつも、マレーシア国民として一つの社会を形成していこうとする姿勢に感銘を受けました。互いを尊重し合って平和な社会が作られている。現地の方たちはフレンドリーで、嫌な思いをすることはあまりなかったです。充実した生活を送り、任期の3年間はあっという間に過ぎました。その後、和泉市や大阪府の教育センターで指導主事を経て、現在に至ります。

大学院では、小中連携・一貫教育を推進するための支援ツールの開発に取り組んでいます。「支援ツールを活用してもらうことで、特に大阪府下のこれから取り組みを始める学校や、もっと進めたい学校の手助けをしたい。小中連携や一貫教育が、不登校の減少や学力向上などに効果があるという調査報告もあります。間接的ですが、支援ツールが大阪府全体の教育改善に繋がっていくと考えています」

短期間の研修ではなく、2年間学生としてしっかり学び直すというのは有意義だと感じています。「持っている知識や経験をきちんと整理し、そこに新たな知識を入れる。授業を受ける中で、今まで自分が経験や感覚に頼って仕事をしていた

と気づきました」。一緒に学ぶ仲間は、年齢も経歴もさまざまですが、教育に対する思いの強さは同じです。「夜大学に来て勉強するというのは、とてもハードルが高い。熱意がなければとても続けられません」。現職教員の院生からは、優れた実践力やその経験に刺激をうけ、ストレートマスターの院生からは高い理想と学ぶ意欲に触発されます。

そんな戸出さん、育児休暇を取得するなどイクメンでもあります。休日の息抜きは、2人の息子と小学校教員である妻から学校の話や空気を感じることに楽しいと言います。時々、妻と教育の現状について熱く議論していると、「家に帰ってまで学校の話せんといて!」と息子たちに怒られることもあるのだとか。最近では仕事に学業に忙しい毎日に「お父さんの存在感がなくなっています」と苦笑します。

「海外生活や育休といった経験と、教育に携わってきた経験を上手く融合させて、いずれ人様のお役に立つ何かが出来れば」。その心には、柔らかな丁寧な物腰からは想像できない、教育への飽くなき情熱が宿っています。

内定者インタビュー Students Now!

スチューデント ナウ



東日本旅客鉄道
株式会社
採用内定

学校教育教員養成課程家政教育専攻 為崎 伶奈さん

実体験を踏まえたアピールを

▶ どうして東日本旅客鉄道に？

もともと飛行機のパイロットをめざしていました。航空会社をいくつか受けましたが上手くいかず、「お客様をお運びする」という共通点がある鉄道会社も受けてみようと思いました。

▶ どんな仕事ですか？

内定をいただいたプロフェッショナル職は、駅員から車掌、運転士を経て最後にはマネジメント職になるという職種です。操縦がしたい、運転士になりたいという思いから、総合職ではなくプロフェッショナル職を選びました。アルバイトで接客をしていて、接客業も好きなので、お客様と一番近くで接する駅員の仕事ができることも魅力でした。

▶ 専攻は家政教育です。不利だと思ったことは？

就職活動(就活)中に何度も「どうして家政教育なのに?」という質問を受けました。少しでも職種との共通点を増やそうと、自動車と小型船舶の免許を取りました。航空会社のインターンシップに参加した時に、資格のチェック欄にそういった乗り物の免許の項目もあって、これは絶対に持っていた方がいいと思ったからです。家政教育という点では、例えば教育実習で指導案を作成した時、先生と相談しながら何度も書き直して、妥協しなかった経験を話しました。業種に直接関連はないですが、そういう姿勢はどの職業でも共通して必要とされるもので、大学でやってきたことは活かせると思います。

▶ 後輩にアドバイスを。

就活用の資金を貯めておくのは大事です。私は何度も東京に行く必要があったので、金銭面がぎりぎりでした。また、3回生までに単位をしっかりと取っておけば、4回生はほぼゼミしかないで、時間の調整がききます。それから面接では、自分のことを話すときに、なぜそう考えたのかを実体験から話す方がより伝わります。私の場合、「なぜ機械に興味をもったのか」と問われ、自動車や船舶の免許を取って実際に運転してみたことをあげました。実体験は強い力をもつメッセージになるので、大学時代はいろんな経験を積んでおいた方がいいです。



奈良県
小学校教諭
採用内定

学校教育教員養成課程国語教育専攻 乾 祐郁さん

日々の授業を大切に

▶ 学外ではどのような活動を？

「奈良県ディア・ティーチャー・プログラム」に参加しました。現場実習に100時間以上行かなければならないプログラムで、約半年にわたって週1～2回小学校に行き、学習指導サポートをしました。プログラム終了後も、同じ小学校にスクールサポーターとして通っています。授業についていけない子、特に算数や漢字の読み書きが難しい子などの横について教えています。そのおかげで、面接でも具体例を挙げて受け答えができました。

▶ 教員採用試験(教採)に向けて、どんな準備を？

学生同士で教採対策を行う「教採カフェ」に参加し、ほぼ毎日朝から晩まで集まっていました。教採カフェに参加しているのといないのでは、断然違います。面接で実際に聞かれた時にどんな間をおいて、どんな長さで答えるのかというのはやってみないとわからないので、毎日同じ受験生と緊張感を持ってやるというのはすごく役に立ちました。

▶ どんな先生になりたいですか？

「気づける教師」が理想です。嬉しい、辛いなど、子どもが何か気づいて欲しいというサインにいち早く気づける教師になりたい。私は、人間味が感じられる先生が好きでした。人として本気でぶつかってきてくれる、自分を見てくれる、そういう先生はとても暖かくて、かけてくれる言葉もすごく響く。そんな先生になりたいです。

▶ 長時間労働など厳しい面も聞えます。

大変だということは聞きますし、不安もあります。でもずっと教師になりたいと頑張ってきたので、子どもが好きだという思い、ここが自分の力を発揮できる場所だという思いで乗り越えていきたいです。

▶ 後輩にメッセージを。

教採を終えてみると、あの授業で先生が言っていたことは、ここで大事なんだと思うことが度々ありました。授業には、現場を経験された先生方のアイデアやノウハウが詰まっていたんだと。普段の授業一つ一つを大事にしておくと、後々絶対に役立つと思います。



大日本住友製薬
株式会社
採用内定

教養学科情報科学専攻 吉村 昌人さん

就活を楽しんで

▶ 就活を振り返ってみて、一言。

最初は少し不安がありましたが、始めると楽しかったです。面接をしているだけで楽しくて。いろんな社会人の方と会って話ができたので、違う価値観を得ることができました。

▶ 業種を絞らずに就活されています。

就活を始めた時は、特に希望の業種はなかったので、やってみて気に入ったところに入ろうと思いました。受けた企業はすべてばらばらの業種で、先輩や両親から話を聞いて会社を見ていきました。

▶ 大日本住友製薬に決めた理由は？

内定をもらったベンチャー企業と最後まで迷いました。ですが、将来あんな風に活躍したいというビジョンが思い描けると感じて、ここに決めました。人事担当者が面白い方だったというのも、決め手の一つでした。

▶ 就活で特に準備したこと、気を付けたことは？

就活が本格的に始まる前に、800字で大学時代に一番頑張ったことを書きました。それを社会人の知り合いに見てもらい、2か月かけて修正しました。それと、面接後に必ずお礼状を書きました。中途採用の方には普通のこのようですが、新卒でやる人は少ないと聞き、受けた会社すべてに書きました。企業からお礼の電話がかかってきたこともあります。お礼状がマイナスになることはないし、規模の大きな企業に入るには印象に残ることが大切なので、やって損はないです。

▶ やりたい仕事かわからない人にアドバイスを。

例えば「銀行」と聞いて学生が思い浮かべる仕事は全体のごく一部で、よく調べると本当にいろんな業務があります。知らないから、わからないのではないのでしょうか。合同説明会などで、いろんな企業を見ると、少しずつ感覚がわいてきます。それでも駄目なら、とりあえず面接を受けてみる。面接官には面白い人がたくさんいます。この人と仕事したいという所に決めてもいいと思います。就活を嫌だとか不安に思っている人が多いですが、それはやめた方がいい。楽しんだ方が、採用されやすくなると思います。



滋賀県
中学校教諭(音楽)
採用内定

教養学科芸術専攻音楽コース 講殿 萌さん

教採で得る新しい出会いも糧に

▶ 教採を終えて、率直な感想を。

辛いこともたくさんありましたが、終わってみると楽しかったなと思います。教採カフェに参加し、専攻やめざす校種の違ういろんな方と協力して乗り越えました。試験直前は毎日のように集まりました。大学が休みの日は、公民館を借りたこともあります。面接で話す内容を考えて、練習したり、振り返ると本当に楽しかったです。

▶ 教師を目指したきっかけは？

所属している吹奏楽部で、小学校をまわる演奏活動があります。子どもたちと触れ合って、自分の好きな「音楽」と「子ども」が同じ場所にあるということに魅力を感じました。子どもたちと一緒にできる音楽が一番自分に合っていると気づき、そこから教員になろうと思いました。

▶ 地元・滋賀県での就職ですね。

大阪府が滋賀県か、最後まで迷いました。大学生活や吹奏楽部の活動を通して、大阪にたくさんの人脈ができたこともあり、ずっと大阪で教員になろうと思っていました。ですが、滋賀県の母校で教育実習をして気持ちが変わりました。4週間生徒たちと過ごすうち、地元にもっと貢献したいという思いが強くなり、締め切りぎりぎり滋賀県に願書を出しました。

▶ どんな先生になりたいですか？

一人でやる音楽ではなく、プロでもなく、仲間と一緒に頑張った時にでてる音楽が一番いいなと思うので、そういう音楽を引き出したいです。仲間を一番に大切にすることを育てられる教師になりたいと思っています。

▶ 後輩にメッセージを。

一人で頑張るのではなく、例えば教採カフェなんかで、新しい人と出会って、その人の良いところをいっぱい吸収して欲しいです。あとは、キャリア支援センターにいっぱいお世話になって、ちょっとくらい迷惑をかけても、どんどん面接練習に行くことをお勧めします。厳しいことをたくさん言われて最初は傷つくこともありますが、それを超えられないと教師にはなれません。自分から積極的に門をたたいてほしいです。

BAGの中身

夢や希望でいっぱいの大教大生のカバンの中を特別に見せてもらいました。

ナチュラルで可愛い服が好きです。
スカートに高めのヒールが
定番スタイル。

スケッチブックと色鉛筆

趣味は絵を描くこと。暇な時間があれば、風景やイラストなど
気の向くまま、時間を忘れて描きます。

カバン

大きくてたくさん入るリュック
がお気に入り。どんな服にも
合うように黒、紺を選ぶこと
が多いです。

歌って踊れる
未来の“せんせい”
もり おか いのり
森岡 祈李さん
第二部
小学校教員養成
5年課程
3年生

合唱サークルの楽譜

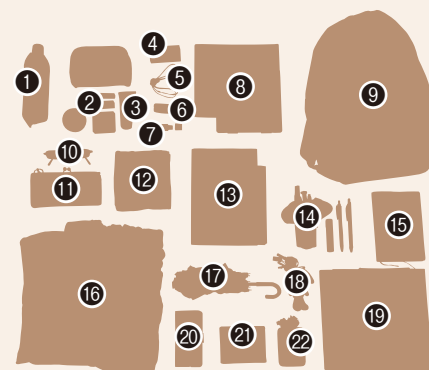
合唱は小学生の頃から
ずっとやっています。ソプ
ラノを担当。

ダンスサークルのジャージ

週4回程度体育館で練習しています。
トレーナーに書いてある通り、NO
DANCE、NO LIFEです！

傘

折りたたみ傘は常に持ち
歩いています。いつ雨が
降っても大丈夫。



①ペットボトル ②メイク道具 ③冬の必需品、ハンドクリーム
④モバイルバッテリー ⑤イヤホン ⑥印鑑 ⑦USBメモリ ⑧ス
ケッチブックと色鉛筆 ⑨通学カバン ⑩眼鏡 ⑪財布 ⑫ハン
カチ ⑬教科書 ⑭筆箱 ⑮手帳 ⑯ダンスサークルで作ったオ
リジナルのジャージ ⑰折り畳み傘 ⑱自転車の鍵 ⑲合唱サー
クルで使う楽譜 ⑳スマートフォン ㉑鏡 ㉒定期入れ



オフショット動画が
見られます。



ダンスサークルの仲間と、
曲や振付を相談。

空き時間は、中庭でダンスの練習。

二部だからできる毎日を全力で！

小柄な体に大きなリュック。アンバランスさ
がなんとも可愛い彼女は、小学校教員養成5
年課程3年生の森岡祈李さん。
カバンからまず出してきたのは、楽譜と練習
着。合唱サークルとダンスサークルの2つを掛
け持ちしています。「次の公演まで合唱は後2
週間、ダンスは3週間。今は練習に追われてい
ます」
小学校で放課後支援活動にも取り組んでい
ます。昼間の時間帯に学校へ行き、実際の学校
現場でしか経験できないことを学べるのが、二
部の強みなんだとか。「小学校教員を目指すな
ら、絶対第二部がおすすです！」
入学前は、「夜間学部＝暗い」というイメージ
を持っていました。そんな不安は、新入生編入
生歓迎行事に参加して消えます。「学生が主体
的に作り上げていて、二部って楽しくて温かい
所だと感じました。今度は私が新入生たちを
迎えようと、次の年には歓迎会の実行委員に
なりました」。今では小規模キャンパスならで
は、人と人との繋がりが深いところが大好
きだと微笑む森岡さん。第二部だからこそで
きる毎日を、仲間たちと共に楽しんでいます。



大阪教育大学

附属学校園ウォッチ

Affiliated School | Osaka Kyoiku University



附属天王寺中・高創立記念式典で卒業生の山中伸弥教授が講演



附属天王寺中学校創立70周年、附属高等学校天王寺校舎創立60周年記念式典が、11月15日
に八尾市文化会館プリズムホールで開催され、ノーベル生理学・医学賞受賞者で、附属天王寺中・
高の卒業生である京都大学iPS細胞研究所所長の山中伸弥教授が講演しました。

「iPS細胞がひらく新しい医学」と題した講演で山中教授は、中学・高校時代の思い出、研究者とし
て一番大事なことを学んだというアメリカでの3年間、iPS細胞の発見からノーベル賞受賞など、これ
までの人生を当時の写真を交えて振り返り、「成功の秘訣は、『VW (Vision and Hard Work) 』。日
本人は一生懸命働くことで安心してしまい、目的や目標などVisionを忘れてることが多い。なぜ
一生懸命働くのかというVisionに立ち返ることが大切」と生徒に語りかけました。そして「式典で吹奏
楽部の演奏や応援歌、応援団、生徒会長や自治会長の挨拶などを聞き、生徒の皆さんが本当に頼も
しいと感じました。この学校が100周年を迎えるとき、iPS細胞が医療で普通に使われているように共
に頑張りたい」と締めくくりました。

講演を聞いた生徒からは、「附高生らしい強い個性の出た、楽しくとても理解しやすい講演でした。
仲間というおこがましいですが、さすが先輩、附高生だと思いました」「山中先生は特別なことをして
いたわけではなく、私たちと同じように部活動や生徒会をやって、その中で得た小さなきっかけを今に
繋げているのだと感じました。私もこれからは身近なことをいろいろ観察して、それを将来につなげて
いきたい」「iPS細胞の難しい話かと身構えていましたが、講演はユーモアにあふれていて、たくさん笑
いました。いい研究をするのも大事だけれど、それを人に上手に伝える技術も大事だと思いました」と
の感想が聞かれました。

ゼミ室ごぼれ話

《人間科学講座人間行動学研究室》

第3話

心理学の安達智子先生の
ゼミでは、教育心理学や社会
心理学などを中心に、それぞ
れ自由なテーマで研究して
います。例えば「説得」のしか
たについて。「宿題しなさい」
と命令口調で強く言われた
ら、むっとしてやりたくなってしまいますよね。それならどう伝えれば聞
いてくれるのか、意見を出しあって考えたりします。こういったテーマは、
営業で話を聞いてもらえるテクニックなどにもつながるので、就職活動
のアピール材料にもなるんです。



ぼくたちの安達先生に対する最初のイメージは「魔女」。「1つだけ嘘を
つく」という条件で一人ずつ話をする実験があり、話し終わった後に先生が
ざらりと「みんな嘘をつくとき上を見るよね」。何気ない行動から心理を見
透かされてるみたいで、背筋がぞわっとしました。でも、ゼミに来るたびに
先生の新しい面が見れて、とても面白い人だとわかったので、今は怖くない
ですよ。

3年生は現在6人。定期的に飲み会を開いたりして仲が良いです。ゼミの
時のおやつも楽しみの一つで、みんな食いしん坊。安達先生の出張先、旅
行や帰省した人のお土産などを楽しんでいます。次はどんなおやつが出て
くるかな。

(豊田 雅樹さん 学部3年生)

〈キリトリ〉

天遊 vol.40 アンケート

●本号でよかった記事を下から選んでください。
(3つまで。その他は具体的にお書きください。)

- 【 】 【 】 【 】
(その他)
①天王寺キャンパスの魅力 ②ラボ訪問
③STUDENTS NOW!～社会人学生～
④STUDENTS NOW!～内定者インタビュー～ ⑤夢を叶える就職サポート
⑥手をつないで ⑦BAGの中身 ⑧附属学校園ウォッチ
⑨ゼミ室ごぼれ話 ⑩TOPICS

●取り上げてほしい記事がありましたらお書きください。
()

●本誌をどこで手にされましたか。
()

●本誌をお読みになってのご意見・ご感想などをお聞かせください。

●次号以降、毎号「天遊」の送付を希望される方は記載をお願いします。
(一度、送付希望ハガキをいただきました方は、再度お申し込みは不要です。)

どちらかに☑をしてください	☐ 次号以降、毎号「天遊」を送付希望します。 ☐ 今後「天遊」の送付を停止します。
ご住所 〒	
お名前	
お電話番号	

※お預かりした個人情報は広報誌「天遊」の送付以外には使用いたしません。

01 本学連合教職大学院生が読売教育賞を受賞

本学大学院連合教職実践研究科(連合教職大学院)の木田哲生さん(学校マネジメントコース2回生)が、学校や地域での優れた教育実践を顕彰する「第65回読売教育賞」児童生徒指導部門で最優秀賞を受賞しました。

不登校の原因の一つに睡眠の乱れがあると考え、睡眠状況と不登校の関係性を調査し、「みんなく(睡眠教育)」を通じた学校づくりを行っていることが評価されました。木田さんが勤務する堺市立三原台中学校(研究代表:木田さん)として受賞したものです。

木田さんは、「みんなく」推進のコーディネーターとなって校内の指導体制を組織化。全校で「睡眠朝食調査」や睡眠を考える授業などを実施しました。熊本大学名誉教授の三池輝久医師が睡眠教育の専門家やスクールカウンセラーなどと協働するとともに、保護者や地域の幼稚園・保育園・小学校・高校などの教育機関、地域団体なども巻き込み、地域全体の取り組みに発展させました。

受賞した木田さんは「本校の職員をはじめ、幼保小、PTA、地域団体、医師など多くの方々と一緒に取り組んできた『みんなく』が認められたことを心から喜んで



います。不登校をはじめとする日本の学校が抱える課題の改善に少しでも貢献できるよう、今後も研究を続けていきます」と喜びを語りました。

指導教員である連合教職大学院の深野康久特任教授は「教職大学院1期生である木田さんと皆様の実践が認められたこと、大変うれしく、誇りに思います。活動の詳細は教職大学院の『実践課題研究報告書』にまとめられる予定で、完成が楽しみです」とコメントしました。

02 リオパラ競泳メダリストの木村氏が講演

リオパラリンピック競泳(視覚障害)のメダリストである木村敬一氏(東京ガス)が、本学学生を対象とした人権教育全学シンポジウムで講演しました。

木村選手は2歳の時に病気のため視力を失い、母親の勧めで10歳からスイミングをはじめました。北京、ロンドンに続き、リオデジャネイロパラリンピックに出場。50m自由形・100mバタフライで銀メダル、100m平泳ぎ・100m自由形で銅メダルの計4つのメダルを獲得し、12月7日に発表された「第1回パラスポーツ賞」(読売新聞社制定)で大賞を受賞するなど、2016年最も輝いたパ

ラススポーツ選手の一人です。

銅メダルを獲得した100m自由形決勝の映像が会場に流れ、木村選手が登場。「金メダルを目標に挑んだり大会で、序盤に思うような結果が出せなかった。100m自由形予選のときには、肉体的にも精神的にもボロボロだった」と振り返り、「周囲のサポートのおかげで、予選を7位で通過し、決勝で挽回して銅メダルを獲得できた。コーチや仲間、サポートしてくださった沢山の方向けに感謝している」と話しました。そして最後に東京オリンピック・パラリンピックに向けて「競技スタンドが満席になることが夢。日本の皆さんに興味を持ってもらい、来てもらえるように、圧倒的な強さを示したい」と抱負を述べました。



(キトリ) <



料金受取人払郵便

差出有効期間
平成29年
11月30日まで

切手不要

郵便はがき

5 8 2 8 7 0 5

(受取人)

大阪府柏原市旭ヶ丘4-698-1
大阪教育大学広報室 行

X (キトリ)

公式 facebook ページを開設しています
<https://www.facebook.com/OsakaKyoikuUniv>公式 Instagram ページを開設しています
<https://www.instagram.com/osakakyoikuuniv/>

速報ニュースや公式ウェブサイトに掲載している情報を中心に、本学を身近に感じてもらえる記事、写真や動画などを配信しています。是非フォローしてください。

公式 アプリケーション

Android・iOS
スマートフォン対応アプリ天遊の
動画も
見れる大教大NAVI
大阪教育大学入試ナビゲーター

取材時のオフショットや、紙面では伝えきれないイキイキとした学生・熱意のこもった教授などのナマの声を動画で配信!

〈詳しい使い方はホームページをご覧ください〉

App Store・Google Playから検索。



大教大



※該当する番号を○で囲んでください

あなたのご所属を教えてください

- | | | |
|-----------|----------|----------|
| ①本学学生 | ②本学卒業生 | ③本学保護者 |
| ④本学教職員 | ⑤附属学校生 | ⑥附属学校保護者 |
| ⑦附属学校卒業生 | ⑧附属学校教職員 | ⑨名誉教授 |
| ⑩教育委員会関係者 | ⑪他大学教職員 | ⑫他大学学生 |
| ⑬その他() | | |

「天遊」とは

「天遊」とは荘子の言葉で、人間の心の中に自然に備わっている余裕を表しています。キャンパス統合移転の記念碑に銘文として刻まれており、揮毫は故水嶋昌(山耀)本学名誉教授によるものです。「天遊」の読みからとった「TenYou」は、「十人十色、そのあなたの」というメッセージを込めています。



本誌はユニバーサルデザインフォントを使用し、再生紙に印刷しています。
この印刷物は、13,000部を702,000円で、すなわち1部54円で作成しました。